



給食だより 1月

令和5年 1月 10日
荒川区立第九中学校
校長 宮崎 剛
栄養士 鈴木 ひかり

あけましておめでとうございます。新しい一年の始まりです。本年も給食だよりでは、さまざまな食に関する情報をお伝えしていきます。みなさんの体と心の成長を支えている給食について考えてみましょう。



○全国学校給食週間とは

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて理解と関心を高め、より一層の充実を図ることを目的として定められました。

学校給食は、戦争により中断していましたが、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）等の物資援助で再開されました。昭和21年12月24日に給食物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」と定め、後に冬休みと重ならない1か月後の1月24日～30日が「全国学校給食週間」となりました。

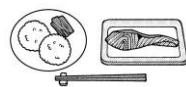


○タイムスリップ給食を出します！

九中では、全国学校給食週間の24日～27日にタイムスリップ給食を行います。詳しいメニューは、月の献立表をご覧ください。

～ 給食の生い立ち～

日本で初めての給食：明治22年山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で家が貧しい子どもたちへ無償の昼食を出したのが始まりと言われています。当時の献立は塩サケ、おにぎり（ごはんを渡され、各自で握ったそうです）、漬物などが出されていたそうです。



昭和20年代の給食：鯨肉は日本人の重要なたんぱく質源として食生活の中で重要な位置を占めました。

昭和40年代の給食：この頃から給食で牛乳が飲まれるようになりました。

その他にも今月は鏡開き、東京都産の食材、海外の料理など様々なテーマの給食を提供します。



正月の鏡もちやひな祭りのひしもちなど、日本の行事食に「もち」や「もち菓子」は欠かせません。行事にちなんだ食文化を大切に受け継いでいきたいですね。

お雑煮 (正月) 	はなびらもち (正月) 	鏡もち (正月・鏡開き) 	ひしもち (ひな祭り) 	ぼたもち・おはぎ (春と秋の彼岸)
主に、東日本では角もち、西日本では丸もち、香川県ではあん入りの丸もちが使われます。	桜もち、花見だんご (桜開花のころ) 	柏もち、ちまき (端午の節句) 	月見だんご (十五夜・十三夜) 	亥の子もち (旧暦10月の初めの亥の日)



お年玉は、もともとお金ではなく、もちでした。「歳神様」という新年の神様からの贈り物として、お供えのもちを子どもに分け与えたことから始まった習慣です。

○残菜調査を行いました！

2学期に残菜調査を行いました。給食委員で話し合い、今年度もすこすこ形式で競い合いました。ゴールをするとリクエスト給食がもらえるので、各クラス普段より残菜ゼロを目指して頑張っていました。

順位発表！！

- 1位 3-1、3-3、1-1
- 4位 2-1、2-2、1-2
- 7位 3-2、2-3

全クラス無事にゴールできました。見事1位に輝いたクラスは、リクエスト給食がもらえます。1月の献立表を確認してみましょう！

※来年度から飲用牛乳のストローがなくなります。

来年度より、SDGsの取り組みにより給食飲用牛乳のストローが廃止になります。それに伴い、3学期からはストロー選択制を設け、ストローを使わない活動を行います。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。